

部活動指導員の配置とその効果について

1. 現状

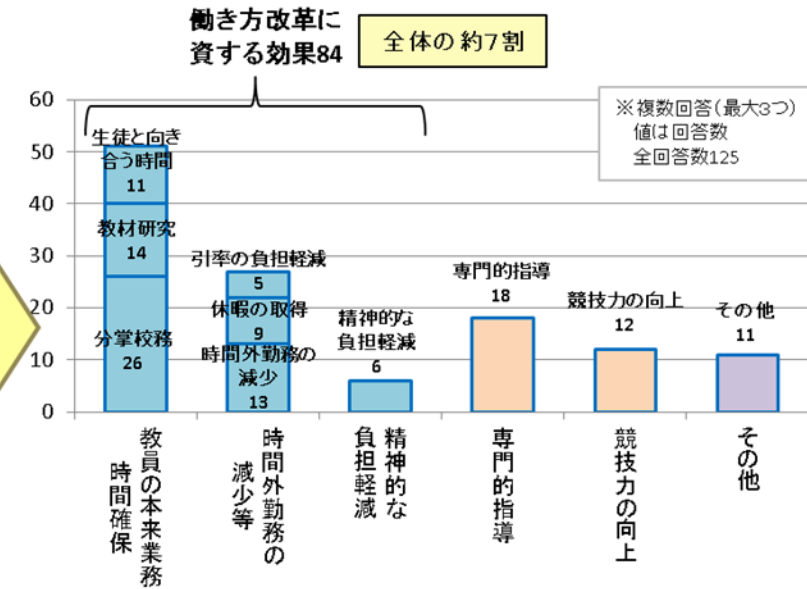
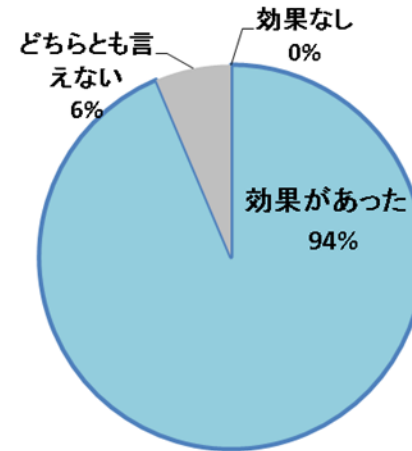
(1) 従事業務

- ・部活動顧問
- ・実技指導
- ・学校外での活動(大会、練習試合等)の引率 など

(2) 配置状況(配置時間:2時間/日×3日間×35週間)

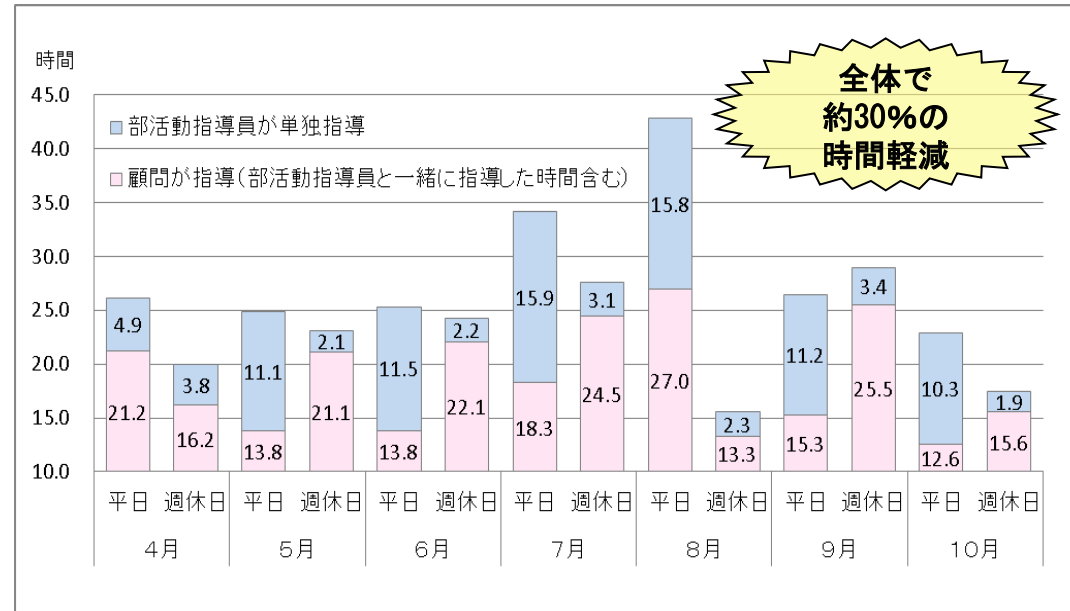
	国	本県	配置の考え方
中学校	4,500人	37人	<ul style="list-style-type: none"> ・H30は、学校・生徒・保護者の同意が得られる37名を配置し、効果を検証 ・H31以降は、検証結果を踏まえ、国の動向も注視しながら配置
高校	—	10人	<ul style="list-style-type: none"> ・H30は、学校・生徒・保護者の同意が得られる10名を配置し、効果を検証 ・H31以降は、検証結果を踏まえ、中学校への配置状況も考慮しながら配置

(2) 配置効果の有無



2. 配置効果 (部活動指導員を配置した部活動顧問教員へのアンケート集計結果)

(1) 部活動指導員配置による顧問教員の時間軽減効果



(3) 配置校からの声

- 教員にとっては時間確保、生徒にとっては専門的な指導による技術向上と双方にメリットがある良い制度である。
- スポーツエキスパートとしての指導経験があるため、生徒や保護者からの信頼が厚く、安心して任せられた。
- 顧問教員と部活動指導員が綿密に連絡を取ることで、生徒指導等の情報共有が円滑に進められた。
- 現在配置されている部活動以外にも配置して欲しい。

3. 国の予算状況 (対象: 中学校)

H30	H31
4,500人	9,000人 (+4,500人)

